

◆ 並木図書館 講演会

やぶ うち りゅう た

藪内 竜太さん 講演会

好きこそものの上手なれ

—動物画家 藪内正幸

YABUUCHI MASAYUKI



『冒険者たち』
(作・斎藤淳夫) 岩波書店より

2017年2月18日(土)

午後2:00~4:00

会場 並木公民館1F 大会議室 ※入場無料 直接会場へ

書籍やグッズの
販売もあります!!

12:00よりミニ原画展あり 同会場にて

※講演会終了後、サイン会があります。サインをご希望の方は、藪内正幸氏の著作本をお持ちください。

動物が好きで、独学で動物画を描き始めたという藪内正幸氏。その作品は、息づかいが感じられるほど生き生きとし、今も多くの子どもたちの心をとりこにしています。動物画家として、動物への深い愛情で生涯描き続け、たくさんの素晴らしい作品を遺された藪内正幸氏について、ご子息であり、また藪内正幸美術館の館長を務める藪内竜太さんに、お話いただきます。

講師プロフィール 藪内 竜太(やぶうち りゅうた)氏

父は動物画家の藪内正幸、母は福音館書店編集者を経て、フリーライター、タイ料理研究家として活躍した戸田杏子(1941~2006)。

大学卒業後、就職するも正幸氏死去に伴い退社。以後残された1万点以上もの原画の管理を行う。2004年、藪内正幸美術館を山梨県に開館。現在は館長を務め、各地で開催される原画展の企画や講演会を行っている。

—藪内正幸氏 主な作品—

左から「野鳥の図鑑」「どうぶつのおやこ」「くちばし」(作・ビターリー・V・ピアンキ / 訳・田中友子) 福音館書店、「冒険者たち」(作・斎藤淳夫)

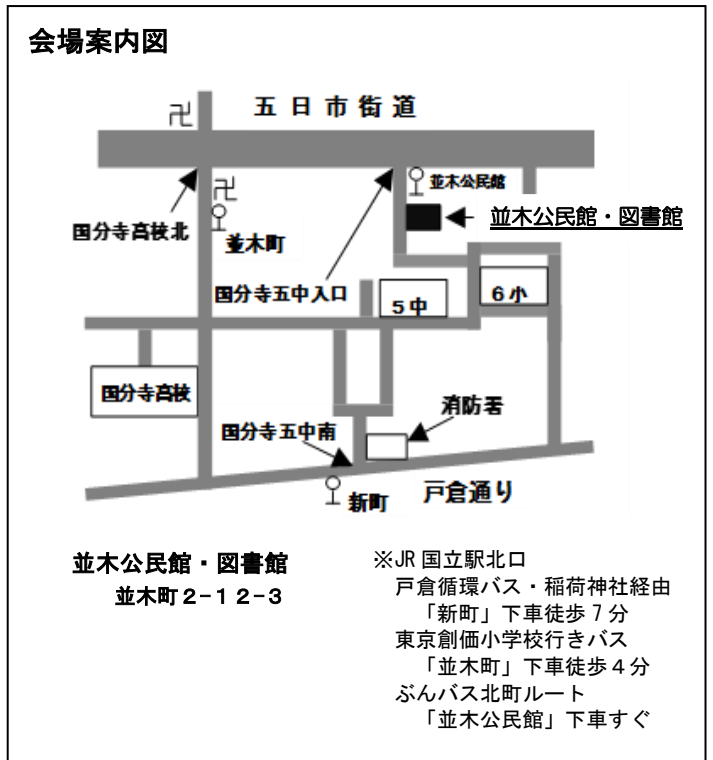


問い合わせ 並木図書館 042-321-9972

■ 藪内正幸 (1940～2000)

1940年大阪に生まれる。子どもの頃から動物が好きで、独学で動物の画を描き始める。1959年、高校卒業と同時に上京。図鑑画を描くため福音館書店に入社し、図鑑、絵本の画を担当する。1971年にフリーランスに転身。動物画家として図鑑、絵本、広告など幅広い分野で活躍。動物たちへの温かい眼差しで描かれた作品は一万点以上遺されている。

1973年サントリー「愛鳥キャンペーン新聞広告」で朝日広告賞第2部グランプリ・毎日デザイン賞、1983年『コウモリ』(福音館書店)で第30回サンケイ児童出版文化賞、1989年『日本の恐竜』(福音館書店)で第9回吉村証子記念日本科学読物賞を受賞。



主な絵本に『どうぶつのおやこ』『どうぶつのおかあさん』福音館書店、挿絵に『冒険者たち ガンバと15ひきの仲間』(作・斎藤淳夫)岩波書店、図鑑画に『野鳥の図鑑』福音館書店など多数。

2000年逝去。



『くちばし』(作・ビターリー・V・ピアンキ / 訳・田中友子)福音館書店より